

第68号 令和5年9月1日	<h1 style="font-size: 2em;">みちびき</h1> <p>【関市少年センターだより】</p>	発行	関市協働推進部 生涯学習課 関市少年センター 電話 (0575) 23-7777
-------------------------	--	-----------	---

令和5年度 第1回関市少年センター運営委員会及び 第1回関市少年補導員連絡協議会を開催

去る6月29日(木)に、関市少年センター運営委員会及び少年補導員連絡協議会を開催し、昨年度の活動や決算報告、今年度の補導計画等について承認されました。また、各支部の活動状況等の情報交換では、実情や建設的なご意見をいただき参考になりました。



関警察署の生活安全課係長からは、少年補導の実態やSNS等を利用したネット犯罪の現状についてご講話いただきました。大変興味深く聞くとともに、情報モラル教育の必要性を強く感じました。

今年度からは、地域の行事や催し物等も再開されますので、コロナ禍前のように補導活動を進める予定でいます。引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

関市少年センター運営委員並びに関市少年補導員連絡協議会の本部役員と新規委員のみなさんをご紹介します。

◎少年センター運営委員のご紹介(敬称略) < >内は選出団体等

委員長 三島 篤 <補導員連絡協議会>	委員 井森 一夫 <補導員連絡協議会>
副委員長 清水 宗夫 <青少年健全育成協議会>	委員 沼田 明仁 <補導員連絡協議会>
委員 中嶋 亘 <自治会連合会>	委員 打田 芳久 <補導員連絡協議会>
委員 中藪 正行 <事業所代表>	委員 藤田 隆好 <関警察署生活安全課長>
委員 長屋 峰男 <民生児童委員>	委員 平田 昌隆 <教育委員会学校教育課長>
委員 古川 雅志 <PTA連合会>	委員 加藤 菊代 <小学校生徒指導主事>
委員 渡邊 千尋 <補導員連絡協議会>	委員 岸野 幹根 <中学校生徒指導主事>
委員 小澤 外美 <補導員連絡協議会>	委員 吉田 英生 <高等学校生徒指導主事>
委員 谷尾 勝之 <補導員連絡協議会>	

◎少年補導員連絡協議会本部役員及び新規委員のご紹介(敬称略) < >内は選出支部等

会長 三島 篤 <旭ヶ丘支部長>	新規委員 坂本 日良 <下有知副支部長>
副会長 渡邊 千尋 <板取支部長>	新規委員 佐藤 恒夫 <富野支部長>
副会長 小澤 外美 <西部支部長>	新規委員 杉浦 範明 <富野副支部長>
書記 谷尾 勝之 <田原支部長>	新規委員 長井 義典 <武芸川支部長>
会計 井森 一夫 <倉知支部長>	新規委員 井藤 利紀 <武芸川副支部長>
監事 沼田 明仁 <南ヶ丘支部長>	新規委員 林 嘉朗 <洞戸支部長>
監事 打田 芳久 <武儀支部長>	新規委員 稲石 智子 <富岡小PTA>
新規委員 稲石 智子 <富岡副支部長>	新規委員 鈴木 悠樹 <緑ヶ丘中PTA>

※ 役員の皆様、よろしく申し上げます。

関市少年センターの活動

関市少年センターでは、明日の関市を担う青少年が希望にあふれ、心豊かでたくましく育つことを願い、専任補導員2名を配置し、小学校校区ごとに支部を設置して民間の補導員を委嘱させていただき、日々、地道で着実な補導活動を積み重ねています。

専任補導員による日常の巡回パトロールでは、小中高校下校時の見守りや公園や大型ショッピングセンター、川原等の見回りを中心に行っています。また、少年補導員連絡協議会委員との合同による特別補導(祭りや花火等)などを実施しています。さらに、各支部の民間補導員の皆さんによる地域補導活動も計画的に実施しております。



スマートフォンの依存症について

世の中便利になったもので、スマートフォン（以下スマホ）があれば、電話だけでなく、メールや検索、災害情報やチケットの購入、YouTube等の動画の作成、送受信、ゲーム等、様々な機能を有しており、アプリをダウンロードすれば、その機能はもっともっと膨れ上がります。それだけに魅力のあるツール（道具）です。スマホひとつがいくつもの役目をこなすため、手放せない環境を私たち自身が作り出しています。スマホを必要に応じて、上手に使いこなせばよいのですが、便利で操作が簡単なだけに、その危険性も含まれています。

そんな中で、小中高校生のスマホ保有率が高くなるにつれ、子どもたちがスマホ依存に陥りやすい危険性も増えています。子どもは、自身をコントロールする術をまだよく知らず、未熟なところがあります。スマホの機能に夢中になりやすく、いったん熱中すると他のことを忘れてしまう傾向も見られます。そのため、生活のリズムが乱れ、不登校やうつ病、学力の低下等に、陥りやすいです。だから、家庭内でのルールをきちんと作っておかないと大変なことに発展しかねません。

こんな行動をしていたらスマホ依存に注意？

お子さんの様子を観察し、下記に掲載した項目をチェックしてみてくださいはどうか？当てはまる項目が多いからと、スマホ依存と決めつけるのではなく、スマホやインターネット利用の仕方を親子で一緒に話し合い、見直してみましょう。親子で利用の約束事を決めることが大切だと思います。

- ゲームやコンテンツを見ながら、1日2時間以上パソコンやスマホに向かっている。
- ネットを勉強や調べもの、連絡以外にもよく使っている。
- 自分のSNSのアカウントを複数持っているようだ。
- ネットやスマホをやめるように言うと怒る。
- スマホを持たせてから様子や雰囲気が変わってきた。
- 生活が不規則になり、夜型になった。
- 学校の成績が下がった。
- ネット上にかなり親しい友だちがいるようだ。
- 学校から帰ってきて、ずっとネットやスマホを見ている。
- 家族にかくれて、スマホを使っている。
- 食事中でもトイレの中でも、布団の中でも、常にスマホを持っている。
- 深夜までネットを利用して、朝起きられない。
- 以前はしていたことを面倒くさがるようになった。
- 金銭感覚があらくなり、小遣いを欲しがるようになった。
- ネットやスマホに夢中になり、宿題や手伝い、習い事、部活動などをやらないことがある。
- ネットやスマホを利用すると、視力が落ちたり、「体調が悪い」と言ったりするようになった。
- LINEなどの返信が来ないと気になり、頻りにチェックしてしまう。
- 常に手元にないと落ち着かない。不安になる。
- 人と話しているときもスマホをチェックしてしまう。
- スマホを見ながら、寝てしまうことがある。
- 起床すると、まずスマホをチェックする。
- 歩きスマホや自転車に乗りながらスマホをしてしまう。
- 外出中にスマホの充電が切れると不安感に襲われる。



出典【よくわかるネット依存】PHP 研究所

スマホ依存に陥ると下記のような身体面、精神面での症状が出てくるといわれています。

身体面での症状

- ・視力の低下
- ・めまい
- ・肩こり
- ・吐き気
- ・倦怠感
- ・栄養障害
- ・寝不足によるだるさ
- ・栄養障害 等

精神面での症状

- ・感情がコントロールできなくなる。
- ・いつもイライラしている。
- ・攻撃的になる。
- ・無感情、無感動になる。
- ・自己中心的な考えに傾く。
- ・話がかみ合わない。
- ・記憶力の低下 等